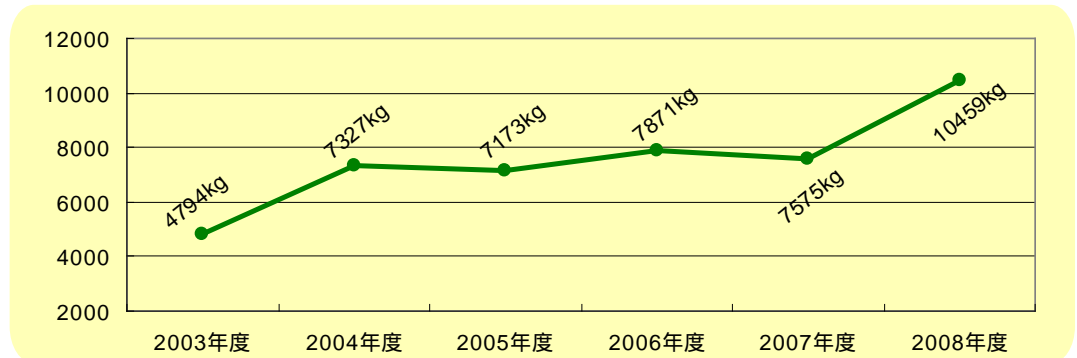


活動理念・活動方針

なぜ環境対策が必要なのか

11月祭では大量のごみが排出されます。また、近年は11月祭の規模拡大の影響もあり、ごみの排出量も増加傾向にあります。そのほとんどが焼却処分されていた時代もありました。何の環境対策も施さずにごみが処理されるとすれば、その環境負荷は測り知れないでしょう。そこで、11月祭環境対策委員会は、11月祭における実質的な環境負荷の削減と環境問題に対する意識啓発を目的に様々な活動を行っています。

11月祭におけるごみ
排出総量の推移(kg)
(2003-2008年) ▶



2008年度は以下のような活動理念・活動方針のもと活動しました。

《活動理念》

11月祭環境対策委員会は環境問題が重要な問題であるということを認識し、特に11月祭におけるごみ問題について総合的な活動をする。同祭りにおいてごみ減量の理想的モデルを構築し、本学学生及び11月祭来場者、ついには社会に対してこのごみ減量モデルを提示し、社会の目指すべき方向を示唆する。

《2008年度活動方針》

11月祭において、実質的な環境負荷の削減を、祭りの参加者とともにやる。

11月祭において、祭りの参加者全てを巻き込んだ活動を行い、環境問題についての意識啓発を行う。

具体的な環境対策活動

▶ ごみ分別・リサイクルに関する取り組み(3~6ページ)

11月祭で排出されるごみによる環境負荷を削減するために、ごみ回収システムやリサイクルシステムの構築を行っています。

▶ 洗い皿使用模擬店企画(7,8ページ)

使い捨て容器ごみによる環境負荷を削減するために、洗い皿の貸し出しを行っています。

▶ 広報・調査活動(9,10ページ)

祭りの参加者への情報発信や、環境負荷調査などを行っています。